2020年農林業センサスの概要

目的

- 食料・農業・農村基本計画、農林水産業・地域の活力創造プラン、森林・林業基本計画などで示された施策を踏まえ、我が国農林業の生産構造や就業構造、農山村の実態とその変化を明らかにする。
- 農林業センサスは、しっ皆調査であることから、旧市区町村別、農業集落別といった小地域統計や各種標本調査に向けた母集団情報を提供する。

農林業経営体調査

概　要

調査期日：2020年2月１日現在
（前年12月中旬～2月末に調査員による調査）

調査対象：全ての農林業経営体

調査系統：　農林水産省→都道府県→市区町村
→指導員→調査員→調査客体(農林業経営体)

調査事項

農業労働力、経営耕地面積、農作物の作付面積、家畜の飼養状況、農産物の販売金額、農作業受託の状況、農業生産関連事業、林業労働力、保有山林面積、素材生産量、林産物の販売金額、林業作業の委託及び受託　等

改正のポイント

- 個人経営体、団体経営体ともに、従事者の性別、年齢、従事日数階層を調査し、農業労働力の全体像を把握
- 後継者の確保状況や、収入保険制度の加入要件である青色申告の実施状況、有機農業の主要品目の作付面積などを新たに把握
- 専兼業別統計や農業就業人口など、ニーズの低下した調査事項は廃止

農山村地域調査（市区町村調査、農業集落調査）

概　要

調査期日：2020年2月１日現在
（前年12月上旬～2月末に郵送による調査
4月上旬～6月末に調査員による調査（未回収分））

調査対象：全国の市区町村、農業集落

調査系統：農林水産省―（郵送又はオンライン）→市区町村・集落精通者
→地方組織→調査員 ―（未回収分）→

調査事項

総土地面積・林野面積、
寄り合いの実施状況、地域活動の状況、地域資源の保全・活用状況、実行組合の有無

改正のポイント

- 森林環境譲与税の譲与基準の一つとなる私有林人工林面積を新たに把握
- 農業集落の立地条件、農業集落の概況に係る事項について、把握内容を拡充した上で、把握手法を効率化
- 農業集落別結果を他のデータと組み合わせて分析できる形でDBとして提供